



ちとせっ子

No. 1
令和7年5月末日

山形市立千歳小学校
森谷 弘昭

学校教育目標

自分で考え、自分で判断し、自分で決定し、自分で行動できる子供の育成

今年度第1号の発行が遅れてしまい、申し訳ございません。今後は月末までにはお届けしますので、ご理解の程お願いいたします。

令和7年度 1学期始業式 校長の話 より

今日から新しい学年が始まりました。みなさんそれぞれ一つずつ学年が上がりました。新しい学年になってどんな勉強をするのかなとか、こんなことをしてみたいなという希望でわくわくしていると思います。

明日は入学式で一年生が入学します。千歳小学校の児童の数は全部で400人を超えます。人数は昨年度より増えますが、みなさん一人一人を大切にすることは全く変わっていません。

この400人の千歳小の子どもたちが **ちえいっぱい** **ともだちいっぱい** **せいいっぱい** を合い言葉に、一人一人が成長できる学校、そして、みんなで支え合い、高め合いながら居心地がよいあたたかい学校を創り上げていきましょう。

みなさんにとって楽しく充実した1年間になる上で、特に大切にしてほしいことを1つだけお話しします。

それは、**あいさつ**です。もう少し詳しくいうと、**あいさつは「人と人の心をつなぐ」大事なアイテム**なのです。アイテムといたら、みなさんはゲームのことをすぐに思い浮かべるかもしれません。

ある会社の社長さんとお話をしたとき、自分の会社に人を雇う際、挨拶がしっかりできる人かどうかを見るそうです。今は、コンピュータや機械で仕事をする人が多くなってきているので、人と仲良くできる人を社員にしたいと話していました。それくらい挨拶は大事なのだと校長先生は思いました。

また、あいさつが上手だと、明るくて、元気で、さわやかな学校だということが話題になります。地域の人だけでなく学校にいらっしゃるお客様は、それだけ関心をもっていることになりますね。

褒められるということは誰にとっても嬉しいものです。学校全体が褒められるって素敵なことではないでしょうか。新学期が始まるにあたり、「あいさつ大事」の話をしましたが校長先生もみんなとあいさつを交わしたいと思っていますので、どうぞよろしく願います。

